

かけはし

第81号 平成20年3月31日発行
千代田区教育委員会
<http://www.city.chiyoda.lg.jp/>



さくらの花数調査 五番町児童遊園（番町小学校）

主な記事

- ★教育委員会実施のうち31事業を紹介
- ★キャリア教育
- ★平成19年10月から
平成20年3月までの思い出



EMS 508362/ISO (JISQ) 14001



写真：千代田区教育委員会
千代田区広報聴課

項目	事業名	事業内容
宿泊行事	7 嬬恋自然体験交流教室 (小)	小学校第5学年の児童を対象に2泊3日で春と秋の2回行います。今年度の実施時期は5月と10月で、群馬県嬬恋村の小学生や住民の方々とともに、春（5月）に農作物の作付け、秋（10月）にその収穫を行い、自然と触れ合い、勤労の精神や社会性をはぐくむ体験学習を実施しています。
	8 箱根移動教室 (小)	小学校第6学年の児童を対象として、今年度は6月に2泊3日で実施しています。壮大なカルデラを有する火山であり、古くから東海道の要所として名高い箱根の地で、普段教室では活動しにくい社会科や理科等に関する体験学習を行います。
	9 軽井沢移動教室 (中・中等)	中学校及び中等教育学校の第1学年を対象に、2泊3日の集団生活を通じて、教師と生徒の信頼及び生徒同士の友情を深め、学校生活を楽しく有意義に過ごすための基礎を築きます。平成18年度より、入学間もない4月に実施しています。
	10 岩井臨海学校 (小・中) ※平成19年度新規事業	平成19年度から夏季休業中の7月に、千葉県岩井海岸で2泊3日の臨海体験・実習を行っています。海での遊泳や海浜での様々な体験活動、宿舎での集団活動を通して心と体の健康づくりを図ることをねらいとしています。 対象：小学校第4学年 内容：水泳、磯遊び等の自然体験 対象：中学校第1学年 内容：水泳、ライフセービング実習
徳育	11 嬬恋冬季スキー教室 (中) ※平成19年度新規事業	平成19年度から2月に、中学校第2学年を対象に、群馬県嬬恋村で2泊3日のスキー教室を実施しています。自然の厳しさや雄大さを学ぶとともに、生徒の健康増進と心身の鍛錬を図ること、集団生活の中で豊かな人間性や社会性、規範意識を養うことを目的としています。
	12 小・中連合芸能行事 (幼・小・中・中等)	こどもたちの豊かな人間性と個性の伸長及び本区の教育文化の一層の向上を図るため、以下の文化的行事を実施しています。 ○音楽鑑賞教室 対象：小6、中1 (含中等) 時期(平成19年度)：9月 ○雅楽教室 対象：中1～中2 (含中等) 時期(平成19年度)：3月 ○連合文化祭 対象：小4 (合唱、演劇を交互に実施) 対象：中2 (英語劇、合唱、吹奏楽) 時期(平成19年度)：11月(小・中・中等) ○連合作品展 対象：幼・小・中・中等全校(書写、図画工作(美術)、(技術)家庭科作品の展示) 時期(平成19年度)：1月末～2月



教育委員会では、子どもたちの健やかな成長と教育向上のため、さまざまな事業を実施しています。

教育委員会が実施している事業のうち31の事業を紹介します。

今回は、これらの事業にそれぞれかかわった各校(園)の教職員、保護者等及び地域・学生ボランティアのみなさんに、事業評価をアンケート調査形式で実施しました。評価結果は、今後の事業の充実と改善に役立てていきます。

評価結果及び改善策のまとめは、各学校・園に配布しましたが、区のホームページでもご覧になれます。

項目	事業名	事業内容
知育	1 学力達成度調査 (小4～中3) (含中等)	小学校4、5、6学年と中学校1学年には国語、算数、理科、社会の4教科を実施しています。 中学校2、3年には国語、数学、理科、社会、英語の5教科実施しています。 小学校、中学校に、学習状況にかかわる質問紙調査を実施しています。 平成19年度は、小学校が4月、中学校が5月で、今後の学習に役立てるため、調査結果は7月頃に個人に返却されます。 また、調査結果をもとに各学校が、指導改善プランを作成・公表し、授業改善を図っています。
	2 少人数指導 (小・中・中等)	例えば2学級を3～5集団の少人数グループに分割して、習熟の程度や個に応じたきめ細かな学習指導を行っています。 東京都から配置された教員や区の非常勤講師を活用し、区立学校全校で少人数指導を実施しています。
	3 ティームティーチング (小・中・中等)	個に応じたきめ細かな学習を充実するため、1学級を2名以上の教員で担当し、授業を行っています。 東京都から配置された教員や区の非常勤講師を活用しています。
	4 小学校教科担任制 (小) (含 区費講師導入)	小学校の高学年を中心に、教師の得意な教科を交換授業で指導することにより、より充実した学習指導を行っています。区の非常勤講師を活用して小学校全校で実施しており、講師に副担任としての役割をもたせることで、生活面においてもきめ細かな指導を行っています。
	5 学習・生活支援員 (幼・小・中・中等)	特別に教育的支援が必要な幼児・児童・生徒が通常の学級に在籍する場合、それぞれの状況に応じて、該当学級に学習や生活の支援をする支援員を配置し、児童等に個別の学習支援等を行っています。
徳育	6 心の教育コーディネーター (小・中)	道徳が専門の講師(心の教育コーディネーター)を各学校に派遣し、道徳授業地区公開講座などを中心に、道徳授業へのアドバイスや保護者・地域への啓発を通じて、心の教育の充実を図っています。

項目	事業名	事業内容
総合	21 土曜スクール 学力パワーアップ教室 科学教育センター ふれあいスクール (幼・小・中)	○学力パワーアップ教室（中学校） 休業日である土曜日、または日曜日に学習相談室等、学力補充・学力強化のための機会と場を希望者に提供しています。 ○科学教育センター 理科に興味・関心をもつ小学校第5学年の児童を対象として、土曜日等に観察・実験やフィールドでの実習等を計画的に実施し、科学的態度や能力の向上を図っています。 ○ふれあいスクール 幼児・児童・生徒が週2日の休みを有意義に過ごすことができるようにするため、様々な活動や体験の場・機会の整備と充実を図るとともに、各幼稚園・小学校の自主的・主体的な取組を支援しています。 
	22 ブロードバンドスクール (小・中・中等)	小学校・中学校・中等教育学校で、より高度な情報化社会への対応に備え、コンピュータやインターネットの活用による情報教育の充実を図るため、平成14年度9月に「千代田区ブロードバンド・スクール構想」を策定し、平成15年1月から光通信によるインターネット接続と校内LANの整備により、「いつでも、どこでも」コンピュータが使える環境を整えました。平成20年4月から、新ブロードバンドに変わります。 
	23 小・中学校の教職員へのコンピュータの配置	平成17、18年度の2カ年で、小・中学校の教職員一人1台のコンピュータを配置しました。職員室、校長室、事務室、保健室等をLANネットワークで結び、情報セキュリティ対策を一元化するとともに、教材づくりや教務等の改善、効率化を図っています。
	24 ITサポーター（小・中）	各学校に整備されているコンピュータやインターネットを、教育活動に有効に活用していくために、専門家であるITサポートを派遣し、学校の支援体制を強化しています。
	25 特別支援教育巡回相談員 (幼・小・中・中等)	心理・医療等の専門家を各学校（園）に派遣し、各学校（園）の通常の学級に在籍する特別に支援を必要とする幼児・児童・生徒の状況を把握し、適切な指導方法及び支援方法について教職員に指導・助言をしたり、保護者への相談に対応したりしています。 
	26 合同子ども会(幼)	区立幼稚園、こども園の5歳児が一堂に会して、親睦を深めるとともに、優れた文化劇等にふれて豊かな心情を培います。今年度は11月にカスケードホールで実施しました。 

項目	事業名	事業内容
徳育	13 社会体験・インターンシップ (中・中等)	生徒の豊かな人間性の醸成について一層の充実を図るため、区立中学校・中等教育学校第2学年全員を対象として、特別養護老人ホーム等の福祉施設を訪問して、高齢者等との交流活動・介助等の福祉体験等を一定期間（夏季休業中の3日間）連続して行っています。（事前・事後指導は、別の日程で実施）
	14 小・中陸上競技大会 (小・中・中等)	体力・技能向上並びに学校間の児童・生徒の望ましい交流を図るため、区立中学校・中等教育学校の全生徒、区立小学校第6学年の児童を対象に、国立競技場で陸上競技会を行っています。区内私立中学校や婦恋村立の中学校生徒も参加しています。 
	15 小・水泳記録会(小)	体力・泳力向上と区内学校間の児童の望ましい交流を図るため、小学校第5学年を対象に水泳記録会を行っています。
総合	16 新体力テスト(小・中・中等)	児童・生徒の体力・運動能力の現状を明らかにして、児童・生徒の健康・体力づくり等に活用するため、調査を実施しています。
	17 スクールサポートプロジェクト (トレーディングゲーム) (小・中・希望制)	進路学習等の一環として、実社会に生きて働く体験的な課題解決型学習プログラム「トレーディングゲーム」を学校とNPO法人が連携して実施しています。
	18 学校活性化のための地域協力型事業 (地域講師導入) (幼・小・中・中等)	生きる力をはぐくむ教育活動の基盤として、地域の要望や子どもたちの実態に応じた創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進に資するため、外部評価を踏まえて校（園）長から提出された事業計画を基に育成・指導課が事業評価を行い、各学校（園）に予算を配当しています。 
	19 外部評価（含 授業評価） (幼・小・中・中等)	学校は、自校の教育活動や学校運営の状況について、自ら評価を行っています。さらに、保護者、地域住民等による外部評価を行うことで、学校の自己評価に客観性をもたせるとともに、その評価を通して、保護者や地域の方々の教育への関心を高め、学校運営への参画を促進するとともに改善策を立てます。 保護者、地域住民等による熱意と責任ある評価により、家庭・地域社会が教育に果たす役割についての認識を高め、学校・家庭・地域の役割を明確にしながら、双方向に連携することで児童・生徒にとってよりよい教育環境をつくり上げて行きます。 
	20 セーフティ教室 (幼・小・中・中等)	警察等の協力で、児童・生徒が犯罪に遭わないための方法について体験を通じた学習を行うとともに、保護者、地域の方々が参加する意見交換会を通して、学校・家庭・地域社会の連携による「児童・生徒を犯罪から守る取組」を推進しています。

今、勤労観・職業観を育てる教育 (キャリア教育)が 強く求められています



○ 就職・就業をめぐる環境が激しく変化しています。

- ・新規卒者に対する求人状況の変動
- ・求職希望と求人希望との不適合の拡大
- ・雇用システムの変化

○ 若者自身の資質等も課題になっています。

- ・勤労観、職業観の未熟さ
- ・社会人・職業人としての基礎的資質・能力が未成熟
- ・社会の一員としての意識の希薄さ



○ 子どもたちの成長・意識も変わってきています。

- ・身体的な早熟傾向に比して、精神的・社会的自立が遅れる傾向
- ・働くことや生きることへの関心、意欲の低下
- ・職業について考えることや、職業の選択・決定を先送りにするモラトリアム傾向
- ・進路意識や目的意識が希薄なまま、進学・就職する傾向



キャリア教育の推進

社会的自立・職業的自立に向けて

—— 子どもたち一人一人の
勤労観、職業観の育成 ——

が、求められます。

項目	事業名	事業内容
研究・研修	27 研究協力校(幼・小・中)	教育委員会が、学校教育上の課題を解決するため、実践的な研究を通して研究開発を実施する学校を研究協力校(園)に指定しています。指定期間は2年間で、研究成果を発表し、本区の教育の向上を図っています。 平成19年度は麴町幼稚園、番町小学校、九段小学校、富士見小学校が指定校(園)として研究発表を行いました。
	28 幼小国際教育(英語活動)(幼・小)	国際的視野を広め、国際性豊かな児童・幼児の育成を図り、広く国際教育を推進するため外国人講師を雇用し、各幼稚園・こども園・小学校へ派遣しました。
国際理解	29 中・中等ALT	区立各中学校・中等教育学校において、特に英語学習の入門期に当たる生徒に対し、将来、実際に活用できる英語の能力を養うために、日本人英語担当教員の授業について指導補助しています。
	30 国際理解教室の推進(交流活動)	国際的視野を広め、国際性豊かな児童・幼児の育成と友好親善を図り、人間理解と人権尊重の精神を養う教育を推進するため、近隣の外国小学校との交流を行いました。
	31 中・中等海外交流教育(派遣・受入)	国際的視野を広め、豊かな人間性を育成し、海外との友好親善を図るために、区立中学校・中等教育学校2年生を対象に、海外交流教育を実施しています。 平成19年度は、5月に同市立学校の生徒10名を迎え、11月に区立中学校・中等教育学校生徒10名をウエストミンスター市に派遣しました。各校で報告会をしています。



評価結果及び改善策のまとめについての詳しい内容は、
区のホームページでご覧になれます。

<http://www.city.chiyoda.lg.jp/>

千代田区の学校ではこんなキャリア教育が進められています。

小学校では、大きくとらえると学校での活動全般にキャリア教育があるともいわれます。

なかでも道徳でねらいとしている自尊感情を高める活動や、学級活動で行われている仲間同士のよさを見つける活動は、人間関係形成能力を養う上では重要な学習場面です。

また、特別活動における自己決定の場を大切にした活動は、責任感を培い働くことの意義を考える有効な活動でもあります。

そのほか教科や総合的な学習の時間等における日々の活動すべてがキャリア教育と深くかかわっています。

番町小学校の5年生は、

【道徳】の時間に、「働くことの意味を考えよう」という主題の学習をしました。

この授業は、生きがいをもって社会に貢献できる社会人になろうとする意欲や態度を育てるものでした。

子どもたちは、資料やディベート的話し合いにより、様々な考え方にふれながら、「働く」目的は、金銭を得るためだけではないことや、社会に役立つことを積極的にすることが社会生活にとって重要であることに気づいていきました。



番町小学校5年生・道徳
「働くことの意味を考えよう」



麴町小学校5年生・学級活動
「自分のめあてを立てよう」

麴町小学校では、

5年生が【学級活動】で、「自分のめあてを立てよう」という活動に取り組みました。

はじめに、子どもたちがそれぞれ自分の将来を想像し、「わたしの未来像」を文章にしました。

そして次の時間には、「自分のよいところ」「自分のできること・できないこと」を考え、自己理解を深めました。そして、最後は自分の現在の姿をみつめ、どこを伸ばしたいか、変えていきたいところはどこかを考え、5年生修了までと小学校卒業までの各自のめあてを立て、発表し合いました。

そこで千代田区立教育研究所では、千代田区の小・中学校の先生方の協力を得ながら、学校におけるキャリア教育の進め方について調査研究をしました。その結果をまとめ、区内の各学校にお知らせし、更なるキャリア教育充実の指針として活用してもらうことにしています。

これまでの学校においては、

「生きること」や「働くこと」について疎遠であったり、社会人・職業人として基礎的・基本的な資質・能力を身につける取組が不十分であったりしたのではないかといわれます。

あるいは、自らの生き方を探求したり、主体的に進路を選択決定したりできるようにするための取組が有用的に機能していなかったのではないかとという反省もあります。

これからの学校教育には、

「生きる力」を身に付けさせるとともに、子どもたちの発達段階に応じて、何のために学び、働くのかという生き方の指導や、自己の進路を主体的に選んでいく力などを育成する取組を充実し、将来の社会人・職業人として自立できる意志を育てていく「キャリア教育」の実践が強く求められます。

キャリア教育で伸ばしたい 職業的発達にかかわる諸能力

- 互いに認め合って行動していく能力
- コミュニケーションや人間関係を築きながら成長していく能力
- 進路や職業等の情報を収集・探索、選択・活用し、生き方を考えていく能力
- 学ぶことと社会生活との関連や、今やるべきことを理解していく能力
- 生活・仕事上の役割や意義等を理解し、自己の役割等の認識を深めていく能力
- 将来の目標・進路を考え、その実現の計画を立て実行していく能力
- 比較検討したり、葛藤を克服したりして、自己の選択・決定を行っていく能力
- 選択結果の責任を受け入れ、進路実現に向け自ら課題を設定し解決に取り組む能力





10月

10/30 やきいも大会 麴町保育園



10/9 婦恋村名産のキャベツやじゃがいもを販売
昌平小学校



平成19年10月から平成20年3月までの
思い出



11/8 カブトムシの大規模累代飼育に成功
九段小学校



11/28 ふれあい動物園
いずみこども園



12/20 小学生500人が参加
光都東京・LIGHTOPIA 2007
皇居外苑 和田倉噴水公園

12月



12/5 クリスマス用「ペーパー
スタンドグラス」に挑戦
(児童生徒余暇事業) 九段生涯学習館

制作中
富士見小学校

和泉小学校の5年生は、

【社会科】の学習で、テレビ放送局の仕事を取り上げ、生活とのかかわり、従事している人々の工夫や努力等について調べました。

子どもたちはいくつかの班に分かれて、学校のCM番組を作る体験活動に取り組みながら、放送産業が国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや、情報の有効な活用が大切であること等について話し合いました。



和泉小学校5年生・社会科
「情報化社会に生きる」

中学校では、卒業後の進路選択という、重要な課題があるため、それに直結した進路学習や職場体験・インターンシップ等が特徴的なキャリア教育になります。

しかし、そういった特徴的な活動だけでなく、日々の各教科、道徳、等の学習を通したキャリア教育も重要です。

麴町中学校の2年生は、

【総合的な学習の時間】の活動としてインターンシップ福祉体験活動に取り組みました。

まず、子どもたちは小グループに分かれて、連続3日間ずつ、高齢者施設、障害者施設、保育園を訪問し、施設の人々との交流や福祉の仕事を体験しました。その後、この体験をグループごとにまとめて、体験発表会を開きましたが、子どもたちはこの体験活動を通して、社会生活における共感や連帯感の大切さも実感したようです。



麴町中学校2年生・総合的な学習の時間
「生き方を学ぶ職場体験学習」

神田一橋中学校の3年生は、

【数学科】の「図形の性質と証明」の授業の中で、様々な職業名を条件によって「集合」に分ける活動に取り組みました。

この学習を通し、集合の考えを使って、自ら図形の包摂関係を考える基礎を身につけました。

授業に意欲的な学習態度で臨んだ子どもたちは、生活に生きる基礎的知識・技能の習得ができ、さらに学ぶことの意義を理解し、成就感・達成感・自己有用感を伸ばしたようです。



神田一橋中学校3年生・数学科
「図形の性質と証明」



1月



1/8 獅子舞・木遣り・神田囃子で始業式 お茶の水小学校(左) お茶の水幼稚園(右)



2月

平成19年10月から
平成20年3月までの



思い出

2/18 創作和紙アート 千代田小学校



2/23 外国人とお餅つき 一番町児童館



2/1 鬼は〜外! 福は〜内! 神田保育園



3月

3/3 ひなまつり 飯田橋保育園



3/5 サウジアラビアを学ぼう 麹町小学校